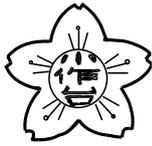


よく考える子  
思いやりのある子  
げんきな子



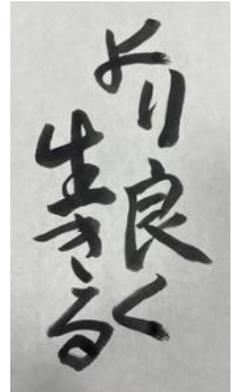
# 学校通信 小作台

第 2 号  
令和7年5月28日  
羽村市立小作台小学校

## 明日のためのその②【多様性を認め合う学校づくり】

校長 清水 治彦

現代社会において、一人一人の違いを尊重し、多様性を認め合う感覚を醸成していくことは、極めて重要な学校の使命と考えています。自分を理解し、互いを理解した上で、学校は『安心して自己を表現できる場』と子供たち一人一人が認識できることが重要です。ですから学校全体として、異なる価値観や背景を肯定的に受けとめる教育活動を推進していかなくてはなりません。こうした取組を積み重ねることにより、児童は他者と協働しながら【よりよく生きる力】を育み、持続可能な社会の担い手として成長していけるのだと思っています。しかしその実現は、一朝一夕で叶うものではありません。方向を見定め、粘り強く、計画的に活動を積み重ねていく必要があります。多様性を認め合うことのできる学校づくりのために必要なポイントを以下のように考え実践していきます。



### 1 相互理解を深める取組

まずは児童・教職員が互いの違いを理解し合う文化を学校全体で育むことが重要です。互いを知るために、学年を超えた交流活動、異学年でのペア活動を通して、多様な他者と関わる機会を意図的に設けていきます。直近では、1年生が日光移動教室に向かう6年生に「てるてる坊主」を作ってプレゼントしました。ナップザックにそのてるてる坊主を付けて6年生が戦場ヶ原をハイキングする姿は、心温まるシーンでした。また、5月26日の全校朝会では、このエピソードを6年生の担任が1年生へのお礼という形で全校に向けて紹介しました。

### 2 安心して自己表現できる学校風土の醸成

互いを知り、関係を深めた上で目指すことは「多様性を受け入れ、誰もが安心して過ごせる」という雰囲気(風土)を定着させていくことです。いじめ防止や人権教育の方針と連動させ、「違いを認める」こと自体を「当たり前のこと」として誰もがとらえることができている状況を作ります。教職員は研修等を通じて、児童一人一人の違いを尊重する指導姿勢を一層確立し、教室だけでなく校内のあらゆる場面で児童の安心感が保障されるようにしていきます。【みんなと同じ＝当たり前】ではなく、【違いがあるのが自然、それを受け入れるのが大切】という感覚を皆が共有している学校を目指します。

### 3 多様性を肯定する教育活動

多様性を肯定的にとらえる力を育むために、その視点をもって教育活動にあたる必要があります。例えば、総合的な学習の時間において、国際理解、福祉、ジェンダー、多文化共生などをテーマとした学習を系統的に実施したり、特別の教科道徳の指導においては、「相互理解・寛容」の学習をはじめ様々な内容項目(学ぶべき道徳的価値)に関連付けて指導したりすることが可能です。学校行事の取組でも、それぞれの子供たちがもつ力が生きる役割分担をすることなどで、多様性を肯定的にとらえる感覚を養うことができると思います。

学校全体で多様性を認め合う取組を推進することは、児童が互いを尊重し、協働的に生きる力を育む基盤となります。それは、全ての児童が自己の存在を肯定され、他者と共によりよく生きていく力を身に付ける教育の実現に直結するものと考えています。

## ～ 学 校 の 様 子 ～

### セーフティ教室・・・5月10日（5・6年生）13日（1～3年生）14日（4年生）

学年ごとにセーフティ教室を行いました。1・2年生は、「不審者による犯罪被害の防止」3年生は、「万引きなどの非行防止」4・5・6年生は、「SNSや情報モラル、スマートフォン等の正しい使い方」について福生警察やKDDI、NTTドコモの方から講話をしていただきました。5・6年生は、授業公開日だったため、保護者の方にも聞いていただくことができました。高学年の中には、スマートフォンを持つ児童も増えてきました。各家庭でルールを作り、適切な使用ができることを願っています。



### 消防写生会（2年生）・・・5月15日（木）

消防車（はしご車とポンプ車）と救急車が学校に来て消防写生会を行いました。消防団の方々もお手伝いに来てくださいました。出張所の皆さんが手作りしたという「消火器マン」は、子供たちから大人気でした。防火服を着た消防士の方々を車と一緒に描いている子も多く、よく見て、画用紙いっぱい描くことができました。



### オーケストラ鑑賞教室（3・5年生）・・・5月16日（金）



プリモホールゆとろぎでオーケストラ鑑賞教室が行われました。3年生と5年生が参加しました。国立音楽大学の皆さんによる演奏で楽器の紹介（弦楽器や木管楽器、金管楽器、打楽器）や全員合唱「ビリーブ」、歌劇「カルメン」より第一幕への前奏曲等を聴かせていただきました。生の演奏を聴くのは初めてという児童も多く、迫力のある音色に様々な感想をもっていました。オーケストラの魅力強く感じる経験になりました。

た。

### 幼・保・小連携協議会委員による学校訪問（1年生）・・・5月19日（月）21日（水）

羽村市では、幼稚園・保育園・小学校の連携を強化し、相互理解を図ることを目的に学校訪問を行い、教員との意見交換を行っています。

幼稚園や保育園、学童の先生方が19日は、1年1組を中心に参観し、21日は、1年2組を中心に参観しました。入学してから1か月半が過ぎましたが、静かに座り学習する子供たちの姿に多くの先生方が「安心しました。」と感想を話していました。

## ～ 遠足や移動教室の様子 ～

### 日の出山（4年生）・・・4月25日（金）

当日朝に降った雨が心配されましたが、出発する頃には霧雨になりました。つるつる温泉そばの登山口から日の出山に登りました。最初が急な登り坂ですが、子供たちは、辛そうにしている友達に「がんばれー。」「大丈夫だよ。」と声を掛けながら歩き続けました。2回の飴玉休憩を経て、2時間余りの登りの最後は、600段を超える階段でした。頂上を目指し、励まし合いながら学年一丸となって登りきることができました。



### 昭和記念公園（2年生）・・・5月8日（木）

天気恵まれ、気持ちの良い天候の日、電車で昭和記念公園へ出掛けました。61名で電車に乗って出掛けるのは初めての経験でしたが、「素早く集まり、すぐ並ぶ」「人と生き物を大切にすること」というめあてのもと、安全に楽しく活動することができました。昭和記念公園では、「虹のハンモック」や「ふわふわドーム」で跳んだり、はねたり、寝そべったりして思いっきり体を動かして遊びました。



### 青梅丘陵（3年生）・・・5月9日（金）

電車で青梅丘陵のスタート地点である宮ノ平駅に向かいました。宮ノ平駅から、永山公園グラウンドを目指して、青梅丘陵ハイキングコースを歩きました。平坦な道ばかりでなく、急な登り坂もありましたが、途中の飴玉休憩で元気をチャージしながら、一人も遅れることなくしっかり歩くことができました。



### 日光移動教室（6年生）・・・5月20（火）～22日（木）

最終日は曇っていましたが、2日間は、天気恵まれ、全ての行程を予定通り行うことができました。1日目の「日光東照宮」では、ガイドさんの説明を聞きながら、世界遺産に登録されている豪華な歴史建造物を見学しました。2日目の戦場ヶ原ハイキングでは、ガイドさんと一緒に歩きながら、日光の自然を満喫しました。夜のナイトレクでは、若旦那さんの怖い話を聞いた後、男女ペアになりドキドキしながら夜の道を歩きました。子供たちは



3日間、しっかり食べて、睡眠をとり、元気に過ごすことができました。日光移動教室での経験は、子供たちにとってかけがえのない思い出になりました。